



柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくくらせる社会づくり

年齢や性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが自分らしくくらすことができるしくみづくりや、県民が安心できる保健・医療体制の整備に取り組み、いのちが輝き、生き生きとくらせる神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 医療の先進県として、こころとからだの健康を“守る”
- 病気にならないくらしを“創る”
- 誰もが生きがいを持ってくらしを“楽しむ”
- 年齢・性別・国籍などにかかわらず、お互いに“尊ぶ”



医療の現場（処置をする医師たち）

プロジェクト

6 高齢者が生き生きとくらせる社会づくり

- 1 地域包括ケア・認知症ケアの推進
- 2 高齢者が安心してくらせるまちづくり
- 3 高齢者の健康・生きがいづくりの推進

高齢者を標準とする社会の実現

7 県民が安心できる保健・医療体制の整備

- 1 地域に根ざし開かれた医療の推進
- 2 がん対策の総合的な推進
- 3 医食農同源など病気にならない取り組みの推進

県民や患者が納得する医療先進県の実現

8 こころといのちを守るしくみづくり

- 1 自殺対策の総合的な推進
- 2 精神科医療体制の整備・充実

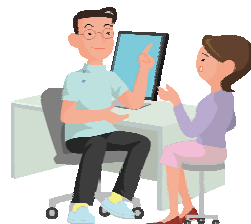
こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってくらせる社会の実現



医療のグランドデザイン

高齢化の進展による救急医療や医療人材の不足など、様々な医療の課題に対応するとともに、医療の受け手である患者、家族が納得できる医療を推進するため、都道府県初の医療全般にわたるグランドデザインを策定します。

また、ICTを活用して、カルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業などに取り組みます。





医食農同源の推進

「医食農同源」とは、病気を治療するの、日常の食事をするの、ともに生命を養い健康を保つために欠くことのできないもので、源は同じだという考えに、さらに食材等を育てる「農」を取り込んだ健康観です。

この医食農同源を推進し、食生活習慣の改善などの取組みと併せて、高齢になっても病気にならず、元気で健康にさせることをめざします。



9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり

1 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実

2 「いざかい」を高める社会参加や就労の支援

3 バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

障害者が安心してくらせる地域社会の実現

10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり

1 男女共同参画の推進

2 男女がともに働きやすい環境づくり

3 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

男女共同参画社会の実現

11 多文化共生の地域社会づくり

1 外国籍県民がくらしやすい環境づくり

2 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援

3 多文化理解の推進

多文化共生社会の実現

12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興

1 ライフステージに応じたスポーツ活動

2 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

誰もがスポーツに親しめる社会の実現

プロジェクトのねらい

- 👉 高齢者を標準とする社会の実現
- 👉 若者から高齢者までともにくらす地域づくり
- 👉 高齢者が健康で生き生きとくらすしくみづくり

高齢者が急速に増加する中、介護が必要な高齢者が増えています。また、高齢単身世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより、高齢者の孤独死が懸念されており、地域における元気な高齢者の活動の場づくりなども求められています。

そこで、必要な介護サービスを身近に利用できる地域包括ケアの推進、認知症ケアの推進、多世代近居のまちづくり、健康・生きがいがづくりの推進などにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きとくらすしくみをつくり、高齢者を標準とする社会の実現を図ります。



特別養護老人ホームでの介護

具体的な取り組み

1. 地域包括ケア・認知症ケアの推進

- ☞ 医療、介護などのサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアを推進するため、地域の拠点となる地域包括支援センターの支援などに取り組みます。また、成年後見制度の利用支援など権利擁護のしくみの充実に取り組みます。
- ☞ 福祉・介護サービスの質と介護職員の意欲の向上を図るため、働きながら参加しやすい研修の開催など人材の育成を図るとともに、若年層への福祉・介護の仕事の魅力紹介や就業の支援などを通じて人材の定着・確保を進めます。
- ☞ 認知症の人や介護する家族を支援するため、認知症疾患医療センターの設置促進や認知症コールセンターの運営など、適切な医療の提供や相談支援に取り組みます。
- ☞ 高齢者の状況に応じたサービスが受けられるよう、特別養護老人ホームなどの介護保険施設の計画的な整備を進めます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 職員研修などによる地域包括支援センターの機能強化	県	地域包括支援センター職員の研修の開催		
② 研修の開催など福祉・介護人材の育成や就業支援など人材の定着・確保の促進	県	研修の開催、就業支援などの推進		
③ 認知症疾患医療センターの設置促進など総合的な認知症対策の推進	県	総合的な認知症対策の推進		
④ 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備への支援	県 市町村	施設整備への支援		

2. 高齢者が安心してくらすまちづくり

- ☞ 高齢者と子育ての世帯がともに安心してくらすよう、住宅団地と駅周辺を一体として捉えた地域において多世代近居のまちづくりを支援するとともに、バリアフリーの街づくりを推進します。
- ☞ 高齢者が安心してくらす住まいの確保を図るため、サービス付き高齢者向け住宅の供給を促進するなど、多様な住まいの普及に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 高齢者と子育て世帯がともにくらす多世代近居のまちづくり	県	モデル事業の実施		
② サービス付き高齢者向け住宅の供給促進	県、市町村 民間など	促進体制の構築と情報提供		

3. 高齢者の健康・生きがいがづくりの推進

- ☞ 高齢者が健康で生き生きとくらすよう、経験を生かした就業の支援やボランティア活動などの社会参画、スポーツ・文化活動などの健康・生きがいがづくりを推進します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 社会参画活動やスポーツ・文化活動などの健康・生きがいがづくりの推進	県 市町村	健康・生きがいがづくりの推進		

プロジェクトのねらい

- 👉 県民や患者が納得する医療先進県の実現
- 👉 がんにならない・負けない神奈川づくり
- 👉 病気にならないための生活習慣の改善

救急患者が増加する中で、比較的軽症な患者が救急病院に集中するなど、地域の救急医療機関において患者を適切に受け入れることが困難になっています。一方、医療現場では、産科などの病院勤務医の確保は厳しく、看護職員についても今後大幅な不足が見込まれます。また、がんによる死亡は依然として増加しており、生活習慣病を減らす取組みが求められています。

そこで、救急医療の充実や医師、看護職員などの医療人材の確保、がん対策の総合的な推進、医食農同源など病気にならない取組みを進め、県民や患者が納得する医療先進県をめざします。



モデル人形を使用した看護実習の様子

具体的な取組み

1. 地域に根ざし開かれた医療の推進

- ☞ 身近な地域で適切な医療を受けられるようにするため、救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援などに取り組みます。
- ☞ 県民が安心できる地域医療体制を整備するため、修学資金の貸付け、職員の子どもを預かる病院内保育への支援など勤務環境の改善、離職防止・再就業に向けた研修の実施など、医師、看護職員などの医療人材の確保に取り組みます。
- ☞ 患者中心の開かれた医療を実現するため、ICTを活用したカルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業や、西洋医学と東洋医学の連携などに取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援	県 市町村	医療機関の整備運営への支援		
② 医師、看護職員などの医療人材の確保	県 民間	修学資金の貸付け、研修などの実施		
③ ICTを活用した医療情報の共有	県 民間	医療情報の共有方法の検討、モデル事業実施		

2. がん対策の総合的な推進

- ☞ がんによる死亡を減らすため、がん予防の普及啓発やがん検診の受診促進など、予防や早期発見に向けた取組みを進めます。
- ☞ がん医療の充実を図るため、県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入を進めます。また、早期診断に向けた新たな診断技術の研究開発にも取り組みます。
- ☞ がん患者が安心して療養生活を送れるようにするため、緩和ケアの推進や相談支援、情報提供など、がん患者・家族への支援に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① がんの予防や早期発見に向けた取組み	県、市町村 民間	普及啓発、研修、相談などの実施		
② 県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入	県立病院 機構	工事	開院	装置据付・調整
③ がん患者・家族への支援	県 民間	相談支援、情報提供などの実施		

3. 医食農同源など病気にならない取組みの推進

- ☞ 高齢になっても病気にならずに元気で健康に暮らせるようにするため、食生活習慣の改善に向けた普及啓発や、医食農同源の考え方に立った、健康増進に役立つ食の研究や県内産農産物の活用などにより、未病を治す取組みを推進します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 食生活習慣の改善に向けた普及啓発や医食農同源の取組み	県	普及啓発、研究などの実施		

プロジェクトのねらい

👉 こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持って
くらせる社会の実現

👉 身近な地域で精神科医療を受けられる体制の構築

本県の自殺者数は1998年に急増し、その後も2007年以降1,800人を超える高い水準で推移しています。自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題や雇用問題など様々な要因があることから、市町村、関係機関、民間団体などと連携し、県全体で取り組む必要があります。また、精神疾患の患者が増加傾向にあり、精神科医療体制の整備・充実が課題となっています。

そこで、関係機関との連携などによる自殺対策の総合的な推進、精神科医療体制の整備・充実に取り組み、こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってくらせる社会の実現をめざします。



県立精神医療センターの整備イメージ

具体的な取り組み

1. 自殺対策の総合的な推進

- ☞ 自殺のサインに早期に気づき、自殺を予防するため、普及啓発や人材養成研修、いのちの尊重に関する教育などに取り組むとともに、メンタルヘルスの問題を抱える労働者や企業、多重債務者などへの相談支援に取り組みます。
- ☞ 自殺を図った人が直前にかかっていることの多いうつ病の早期治療を進めるため、医療関係者の研修やかかりつけ医と精神科医の地域における連携強化などのうつ病対策に取り組みます。
- ☞ 精神疾患を持つ人などが孤立することなく地域生活を送れるようにするため、精神科医や精神保健福祉士など多職種の専門チームによる訪問支援に取り組みます。
- ☞ 自殺未遂者が再び自殺を図ることを防ぐため、関係機関との連携体制を整備するとともに、自死遺族の集いに対する支援などに取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 自殺予防対策の推進	県、市町村 民間	普及啓発、人材養成研修、相談支援		
② うつ病対策の推進	県、政令市 民間	医療関係者への研修、地域における連携強化		
③ 多職種の専門チームによる訪問支援	県	精神疾患を持つ人などへの訪問支援		
④ 自殺未遂者、自死遺族への支援	県 民間	関係機関との連携などによる支援		

2. 精神科医療体制の整備・充実

- ☞ 精神疾患を持つ人がいつでも適切な医療を受けられるようにするため、休日・夜間における身体合併症患者受入体制の整備を行うなど、精神科救急医療体制の充実に取り組みます。
- ☞ 精神科医療の機能強化を図るため、県立精神医療センターの整備（芹香病院とせりがや病院の一体化）を進めます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 休日・夜間における精神科救急医療体制の充実	県	身体合併症患者などの受入体制の整備・充実		
② 県立精神医療センターの整備	県立 病院機構	工事		開院

プロジェクトのねらい

👉 障害者が安心してくらせる地域社会の実現

👉 誰にもやさしいバリアフリーの街づくり

「施設・病院から地域へ」という理念のもと、障害者の地域生活への移行をより一層進め、障害者一人ひとりのライフステージやライフサイクルにあわせて、必要な人に必要な支援やサービスが届く体制づくりが求められています。

そこで、地域における「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実、「いきがい」を高める社会参加や就労の支援、誰もが「ささえあい」ながらくらすためのバリアフリー化の推進などに取り組み、障害者が安心してくらせる地域社会の実現を図ります。



サービス管理責任者研修の様子

具体的な取組み

1. 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実

- ☞ 障害者の地域における住まいを確保するため、グループホームなどの設置運営や入居を支援します。
- ☞ ひとりひとりの障害の状況や特性に応じたサービスを地域において提供するため、専門的な対応ができる人材を養成し、支援体制を整備します。
- ☞ 障害者が安心して地域で生活できるよう、高度専門的なリハビリテーションの拠点施設として、県総合リハビリテーションセンターを再整備します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① グループホームなどへの支援	県 市町村	設置・運営の助言や補助		
② 専門的な支援を行う人材養成	県	人材養成のための研修の実施		
③ 県総合リハビリテーションセンターの再整備	県	設計	工事	

2. 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援

- ☞ 障害者の地域生活・日中活動を支援するため、地域活動支援センターの運営を支援するなど、社会参加を促進する環境整備に取り組みます。
- ☞ 障害者の就労を支援するため、就労の相談や訓練などを行う障害者就業・生活支援センターによる支援を実施します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 地域活動支援センターの運営の支援	県 市町村	運営の支援		
② 障害者就業・生活支援センターによる就労の支援	県	相談、訓練などによる就労支援		

3. バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

- ☞ バリアフリーの街づくりを推進するため、民営鉄道駅舎のエレベーター整備の支援や横断歩道の段差解消、幅広歩道の整備、県立都市公園施設のユニバーサルデザイン化などに取り組みます。また、障害者や障害に対する理解を深める取組みにより、心のバリアフリーを進めます。
- ☞ サービスの利用や権利擁護など障害者からの多岐にわたる相談に的確に応じるため、専門性の高い相談支援の実施や相談支援従事者の養成など、広域的な支援体制の強化を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 民営鉄道駅舎、県管理道路や県立都市公園などのバリアフリー化	県、市町村 民間	エレベーター設置への支援、道路・公園の整備		
② 専門的な相談支援体制の強化	県	専門的・広域的な支援の実施、人材の養成		

プロジェクトのねらい

- ♫ 男女共同参画社会の実現
- ♫ 仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ♫ 配偶者などからの暴力の根絶

男女がお互いを尊重しともに個性や能力を発揮するためには、あらゆる分野での女性の参画が重要ですが、政策・方針決定過程への参画が進んでいるとは言えません。また、長時間労働など男女が仕事と家庭を両立することが難しい状況となっています。さらに、配偶者などからの暴力による被害も複雑化、多様化しています。

そこで、男女共同参画の推進、男女がともに働きやすい環境づくり、配偶者などからの暴力防止と被害者への支援などに取り組み、男女共同参画社会の実現を図ります。



かながわ女性センターでのパパもいっしょのイベント

具体的な取り組み

1. 男女共同参画の推進

- ☞ 女性の政策・方針決定過程への参画促進や多様な人材の活躍を支援するため、あらゆる分野での男女共同参画に資する講座、イベントを開催します。
- ☞ 女性のキャリアアップ、就業・再就業などを支援するため、かながわ女性センターの機能を活かした講座や相談、カウンセリングなどを実施するとともに、国と協力した女性の就業支援に取り組みます。
- ☞ 男女共同参画意識の普及に向け、市町村やNPOなどを支援するとともに連携して取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 女性の参画を支援する講座などの実施	県、市町村 民間	講座などによる普及・啓発		
② 女性の就業・再就業などの支援	国、県、市 町村、民間	講座、相談、カウンセリングの実施		
③ 男女共同参画の理解促進	県、市町村 民間	市町村、NPOなどと連携した普及啓発		

2. 男女がともに働きやすい環境づくり

- ☞ 男女がともに生き生きと働ける職場環境づくりを実現するため、企業訪問などを通じて女性の能力発揮に向けた企業自らの積極的な取り組みを促進するとともに、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けて、中小企業などを対象にしたアドバイザー派遣、働く母親に対するカウンセリングなどを実施します。
- ☞ 男女がともに働きながら子育てしやすい社会を実現していくため、子育て支援に取り組む事業者認証制度の普及や男性の家庭・育児参加など社会全体で子育てを支援する環境の整備、市町村と連携した保育サービスの充実や小学生の放課後児童対策に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 男女がともに生き生きと働ける職場環境づくり	県 民間	企業訪問の実施、ワーク・ライフ・バランスの推進		
② 男女がともに働きながら子育てしやすい環境づくり	県、市町村 民間	事業者の認証制度の普及、保育サービスなどの充実		

3. 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

- ☞ 配偶者や交際相手などからの暴力防止に向けた普及啓発に取り組みます。
- ☞ 暴力に悩む女性などを支援するため、市町村やNPOなどと連携して、相談、一時保護、自立支援に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 配偶者などからの暴力の防止に向けた普及啓発などの実施	県、市町村 民間	普及啓発の充実		
② 被害者への支援	県、市町村 民間	相談、一時保護、自立支援の実施		

プロジェクトのねらい

👉 多文化共生社会の実現

👉 留学生にとって魅力ある環境づくり

県内には多くの外国籍県民が暮らし、その国籍もアジア諸国から中南米諸国など多岐にわたっています。そうした中で、外国籍県民が抱える課題は、教育や子育て、高齢化など多様化、複雑化しています。また、県内企業への就職希望など留学生の様々なニーズへの対応も求められています。

そこで、外国籍県民がくらしやすい環境づくり、神奈川でくらし学ぶ留学生への支援、地域における多文化理解の推進などに取り組み、多文化共生社会の実現を図ります。



あーすフェスタかながわ

具体的な取り組み

1. 外国籍県民がくらしやすい環境づくり

- ☞ 県内で学び働く外国籍県民が地域で円滑なコミュニケーションを図ることを支援するため、国際言語文化アカデミアにおいて外国籍県民を対象とした日本語講座やボランティアを対象とした語学講座などを実施します。
- ☞ 県立高校に通学する外国籍の生徒が充実した学校生活を送れるよう、通訳や学校生活を支援するサポーターを派遣する取り組みを進めます。
- ☞ 外国籍県民が安心してくらすよう、多様で複雑な生活課題の解決に向けた支援を行っている方のスキルアップのための研修を実施します。
- ☞ 災害時における外国籍県民支援の充実を図るため、市町村や関係機関とも連携して多言語による情報発信などの取り組みを進めます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 外国籍県民のコミュニケーションを支援するための日本語講座などの実施	県	日本語講座などの実施		
② 外国籍の高校生に対する学習や学校生活の支援	県	県立高校への通訳や支援サポーターの派遣		
③ 外国籍県民の課題解決に向けた支援者研修の実施	県 民間	支援者のスキルをアップする研修の実施		
④ 災害時における外国籍県民支援の推進	県、市町村 民間	市町村などと連携した支援の充実		

2. 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援

- ☞ 神奈川でくらし学ぶ留学生のニーズに応じた支援を行うため、「(仮称)かながわ国際留学生サポートセンター」機能を整備し、大学やNPO、企業などと連携した取り組みや、情報発信などを行います。
- ☞ 県内での就職を希望する留学生を支援するため、企業や大学などと連携して、就職支援セミナーの開催や県内企業とを結ぶマッチング機会の提供などに取り組みます。
- ☞ 留学生と地域のつながりが深められるよう、留学生による学校などでの国際理解講座の実施や交流事業の参加への支援を行います。また、これにより、子どもたちの国際理解の推進にもつなげます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 大学やNPO、企業と連携した留学生支援機能の整備	県 民間	調査・準備	コーディネート、情報発信	
② 企業や大学と連携した留学生の就職支援	県 民間	セミナーや県内企業とのマッチング		
③ 留学生と地域との交流と子どもたちの国際理解の機会提供	県、市町村 民間	学校などでの国際理解講座などの実施		

3. 多文化理解の推進

- ☞ 地域における多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザを中心とした学習機会や情報の提供を行うとともに、外国籍県民やNPOなどと連携した多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ」を開催します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 地球市民かながわプラザを中心とした多文化理解の推進	県 民間	多文化理解の学習機会や情報の提供、あーすフェスタの開催		

プロジェクトのねらい

- 👉 誰もがスポーツに親しめる社会の実現
- 👉 気軽にスポーツができる環境づくり

スポーツは人々に感動や楽しみ、活力をもたらしてくれます。また、県内の子どもや成人のスポーツ実施率の向上、スポーツを通じた高齢者の健康の維持増進などを図ることがますます重要となっています。

一方、県民のスポーツに対するニーズは多様化し、身近なところでスポーツができるよう、様々な場や機会の提供が求められています。

そこで、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツに親しめるしくみ・場づくりに取り組み、誰もがスポーツに親しめる社会の実現を図ります。



スポーツイベントでの子どもの外遊び

具体的な取組み

1. ライフステージに応じたスポーツ活動

☞ 誰もがスポーツに親しみ健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもの外遊びの奨励、学校と地域が連携した部活動の活性化や子どもの健康・体力づくりの推進、成人期にスポーツに親しめる3033運動の推進、高齢者の日ごろの健康やスポーツ活動の成果を発表するスポーツ大会の開催など、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	県 市町村	様々なスポーツ活動の推進		

2. 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

☞ 県民の多様なスポーツ活動のニーズに対応できるよう、体育センターが担う広域スポーツセンター機能を活かした総合型地域スポーツクラブの支援やアスリートの育成、優秀選手の表彰、障害者スポーツの推進など、スポーツを支えるしくみの整備を図ります。

☞ 誰もがスポーツに親しめる環境を整えるため、県の運動施設、学校や大学のスポーツ施設の活用など、スポーツをする場の充実を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① スポーツを支えるしくみの整備	県 市町村	広域スポーツセンター機能の充実など		
② スポーツをする場の充実	県 市町村	スポーツの場づくり		

柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり

生き生きと子育てすることができ、すべての子どもが安心して育つためのしくみづくりや、一人ひとりの生きる力を高める教育などに取り組み、将来を担う心豊かな人を育む神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 妊娠から出産までの支援を充実し、神奈川で“生む”
- 社会全体で協力し、県民総力戦で子どもを“育む”
- 虐待やいじめなどから子どもを“守る”
- 子どもの可能性を伸ばし、次世代を“創る”



NPOによる子育て支援イベント

プロジェクト

13 子ども・子育て応援社会の推進

- 1 安心して生み育てるための医療体制の充実
- 2 出産・育児を応援する環境づくり
- 3 働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり

安心して子育てできる環境の実現

14 子どもの安心のための総合的な支援

- 1 すべての子どものいのちを守る体制づくり
- 2 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり
- 3 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり

子どもの尊厳、いのちを守る

15 明日のかながわを担う人づくり

- 1 一人ひとりの生きる力を高める学校教育
- 2 障害のある子どもたちを育む支援教育の推進
- 3 児童・生徒が学ぶ環境づくり

豊かな人間性や社会性の育成



いのちの授業

様々な人が参加して、子どもや若者たちに「いのちの授業」を行い、いのちの大切さの学びを深める取組みを推進するとともに、人の尊厳やいのちを脅かすいじめ・暴力行為などの防止を推進します。



プロジェクトのねらい

- 👉 安心して子育てできる環境の実現
- 👉 子どもの育ちを社会全体で支援する機運の醸成
- 👉 「生みたい・育てたい」と「働きたい」の両立支援

核家族化の進展や社会のつながりの希薄化などにより、子育ての行き詰まりが起きるなど、家庭や地域の子育て力や教育力が低下しています。また、働きながら子育てする人が増え、保育所入所希望が増加し、保育所待機児童の問題も深刻化しています。

そこで、安心して子どもを生み、育てるための医療体制の充実、出産や育児を応援する環境づくり、働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくりなどの取組みによって、安心して子育てできる環境の実現を図ります。



NPOによる子育て支援イベント

具体的な取組み

1. 安心して生み、育てるための医療体制の充実

- ☞ 子どもを安心して生むことができるよう、身近なお産の場の確保や周産期に関わる医療体制の整備に取り組みます。
- ☞ 乳幼児の健康を守り、安心して育児を行うことができるよう、小児救急医療体制の整備に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 出産の場の確保と出産前後の医療体制の整備	県、市町村、民間	身近なお産の場の確保、周産期医療体制の充実		
② 子どもの救急医療体制の整備	県、市町村、民間	小児救急医療機関の整備運営への支援		

2. 出産・育児を応援する環境づくり

- ☞ すべての子どもが健やかに生まれ、育つことができるよう、子育てに不安を抱える親や支援を必要としている子育て世帯などに対して、家庭、地域、企業など、社会全体で子育てを支援する環境の整備と機運の醸成に取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 社会全体で子育てを支援する環境の整備	県、市町村、民間	事業者の認証制度の普及と子育てを推進するまちづくり		
② 子育て支援の機運の醸成	県、市町村、民間	子育て支援活動の推進と子育て力の向上支援		

3. 働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり

- ☞ 子育て世帯が安心して子育てと仕事などを両立することができるよう、市町村や企業などと連携し、保育サービスの基盤づくりを進めます。
- ☞ 子どもが放課後や長期休暇を安心して過ごすことができるよう、留守家庭の子どもを対象にした放課後児童クラブや、子どもに安全・安心な居場所を提供する放課後子ども教室などの充実を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 保育サービスの基盤づくり	県、市町村、民間	多様な保育ニーズの充実支援		
② 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり	県、市町村、民間	小学生の放課後対策の充実支援		

プロジェクトのねらい

- 子どもの尊厳、いのちを守る
- 一人ひとりの子ども・若者の可能性を拓く

児童虐待やいじめ・不登校、ひきこもりなど、子どもを取り巻く環境や課題が複雑化・多様化しています。また、発達障害や虐待による情緒障害など専門的なケアが必要な子どもの相談も増加しています。

そこで、すべての子どものいのちを守る体制づくり、支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり、子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくりを通じて、子どもの尊厳、いのちを守り、子どもが安心して成長できる神奈川をめざします。



いじめのない教室を学ぶ子どもたち

具体的な取り組み

1. すべての子どものいのちを守る体制づくり

- 児童虐待を防止するため、出産前から子育て家庭が孤立しないよう、関係機関の連携による地域のネットワークの充実や虐待に陥らない親子関係の構築支援に取り組みます。
- 子どもや若者に対するいのちの大切さの学びを深めるとともに、人の尊厳や命を脅かすいじめ・暴力行為などを防止するため、学校や地域における取り組みを推進します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 児童虐待の未然防止に向けた関係機関連携による地域のネットワークの充実	県、市町村、民間	ネットワークの充実、親子関係構築支援		
② いのちの大切さの学びと学校などにおける取り組みの推進	県、市町村、民間	「いのちの授業」の実施、学校などの取り組み推進		

2. 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり

- いじめを見逃さずに認知し、早期の解消を目指すとともに、不登校の状態にある児童・生徒へのきめ細かい支援や、いじめ・不登校などを生まない学校づくりを進めるため、学校と家庭、地域、関係機関などの連携強化に取り組みます。
- 社会的養護や専門的療育を必要とする子どもの成長を支援するため、児童養護施設における家庭的な環境の下での養育の推進や子どもの自立支援拠点整備などの専門的ケア体制の強化を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 学校と家庭、地域、関係機関などの連携による支援の強化	県、市町村、民間	連携の強化		
② 子どもへの専門的ケア体制の整備	県、民間	専門的ケア体制の整備		

3. 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり

- 社会生活を円滑に営む上で困難を有するすべての子ども・若者を支援するため、切れ目のないトータルな視点から、総合相談窓口の整備と自立に向けた支援に取り組みます。
- ひきこもりなどの問題を抱える子ども・若者の支援を推進するため、地域における相談・支援体制の充実を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 子ども・若者の総合相談体制の整備	県	総合相談窓口の設置、相談体制の強化		
② 地域における相談・支援体制の充実	県、市町村、民間	地域の相談・支援体制の充実		

プロジェクトのねらい

- 👉 豊かな人間性や社会性の育成
- 👉 課題を抱えた子どもたちへの教育の充実
- 👉 安心して学べる教育環境の実現

多様化する児童・生徒の学習ニーズに対応するため、一人ひとりの学習状況や環境に合わせたきめ細やかな教育が求められています。

また、特別支援学校への入学を希望する障害のある児童・生徒が増加していることへの対応も急務となっています。

そこで、一人ひとりの生きる力を高める学校教育、支援教育の推進、児童・生徒が安心して学ぶ環境づくりに取り組み、次代を担う児童・生徒の豊かな人間性や社会性の育成を図ります。



パン屋でのインターンシップ

具体的な取組み

1. 一人ひとりの生きる力を高める学校教育

- 👉 一人ひとりの生きる力を高めるため、小・中学校を中心とした学習状況調査や実践研究を通して教科指導方法の工夫や改善を行うなど、確かな学力向上の推進に取り組みます。
- 👉 多様化する生徒の幅広い学習ニーズに対応し、生徒の学ぶ意欲に応えるため、活力と魅力ある県立高校づくりを進めます。また、子どもたちの主体的な学校選びを実現するため、私立学校を含め、各高校の魅力や特色をアピールしていきます。
- 👉 一人ひとりが、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、インターンシップや職業技術校を活用したもののづくり体験など、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実に取り組みます。
- 👉 子どもたちが科学の楽しさを実感できるよう、県内各機関で開催される体験機会の紹介や民間機関と連携した小中学校向けの出前授業の実施などに取り組み、科学への理解を高める活動を推進します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 確かな学力向上の推進	県 市町村	学習状況調査と実践研究の実施		
② 活力と魅力ある県立高校づくり	県	学ぶ意欲に応える県立高校づくりの推進		
③ キャリア教育などの推進	県	キャリア教育の充実・推進		
④ 科学への理解を高める活動の推進	県、市町村 民間	科学体験機会の紹介、出前授業の実施		

2. 障害のある子どもたちを育む支援教育の推進

- 👉 特別支援学校への入学を希望する児童・生徒の増加に対応するため、特別支援学校の設置やスクールバスの計画的な配置などを進めます。
- 👉 障害のある児童・生徒の自立と社会参加を進めるため、就労支援や進路指導などの充実による支援教育の推進を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 特別支援学校の整備	県	特別支援学校の設置、スクールバスの計画的な配置		
② 支援教育の推進	県	進路指導の充実、教育相談コーディネーターの養成		

3. 児童・生徒が学ぶ環境づくり

- 👉 個性豊かな次代の人づくりを担う高い指導力と意欲をもつ教職員の確保や育成を図ります。
- 👉 生徒が安心して学べる環境を整備するため、県立教育施設再整備10ヵ年計画（まなびや計画）に基づく耐震化・老朽化対策などに取り組みます。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 高い指導力と意欲をもつ教職員の確保・育成	県	教員志望者養成講座、教職員研修の充実		
② まなびや計画に基づく耐震化・老朽化対策の推進	県	県立教育施設の耐震化・老朽化対策		